

# 平成27年度千葉県立松戸向陽高等学校教育指導方針

平成27年4月1日

テーマ：生徒「自ら学び、自ら守り、自ら心がける」  
職員「進路実現に向け主体的に取り組む生徒の育成」

重点目標：

- わかる授業、学ぶ意欲につながる授業の実現
  - ・基礎学力の定着
- 社会の一員としての基礎的・基本的態度の育成
  - ・きめ細かな指導による規範意識・基本的生活習慣の定着
  - ・主体的に取り組む姿勢の育成
- 計画的・継続的・組織的進路指導の徹底
  - ・発達段階に応じた進路指導と個に応じた進路指導
  - ・組織的な補習体制の確立
- 安全・安心で信頼される学校づくりの推進
  - ・安全点検、安全整備の徹底（物理的、心理的、身体的安全）
  - ・職員相互の研修の充実及び若手職員の育成
  - ・職員の不祥事防止、適正な会計処理
  - ・地域と連携した教育活動と情報発信
- 福祉教育の充実
  - ・校内福祉関連授業及び事業の充実
  - ・福祉教育を基盤とした道德教育の充実
  - ・福祉教育拠点校としての県内福祉教育の充実

県の指導方針に基づく具体策：

## 1 人生を拓く「確かな学力」を育む

職員相互の授業参観を始め、授業公開・授業練磨の日の有効活用等をとおして、授業力の向上を図るとともに、授業アンケートの実施により授業改善を図る。

指導目標を明確にし、少人数指導や学び直しの時間の有効活用等、授業方法や授業内容の工夫により、全教職員が協力して、わかる授業の展開に努め、基礎的・基本的な知識や技能の確実な定着と学ぶ意欲の喚起を図り、主体的に学ぶ姿勢を育む。

高大接続改革をみすえ、職員研修を行うと共に教育課程の検討をすすめる。

## 2 思いやりのある「豊かな心」を育む

個人面談等を通して生徒理解に努めるとともに、挨拶の励行、頭髪・整容指導、時間厳守び清掃の徹底など、生徒指導については、共通理解・共通認識のもと、共通行動により組織的に全職員で当たる。

福祉、家庭の授業、道德教育及び読書活動等を充実させ、将来の家庭人、社会人としての基礎的・基本的な姿勢・態度を育む。

## 3 活力にあふれる「健やかな体」を育む

特別活動及び部活動等、学校内外の集団活動をとおして、生徒が集団の中で自己を生かす能力を育成する。

## 4 発達の段階に応じた「キャリア教育」を進める

総合的な学習の時間等の活用により、3年間を見通した計画的・組織的指導をとおして、家庭や上級学校、地域社会、産業界等と連携し、生徒に自らの在り方・生き方を考えさせ、社会的・職業的自立に向けて必要な基本的な能力や態度を育て、進路実現に向け主体的に取り組む姿勢を育て、安易な進路選択をなくす。

進路実現に向け、必要な学力向上のため分掌・学年・教科が協働し補習を行う。

## 5 「地域とともに歩む学校づくり」を推進する

組織として安全・安心な学校づくりに努め、近隣の小中学校や地域等との交流・連携を推進する（開放講座、体育施設開放、出前授業、ボランティア活動等）。

HPの随時更新等をとおして、本校の教育活動に係る広報を積極的に行う。

## 6 福祉教育の充実

福祉や福祉関連教科の学習をとおして、福祉マインドの涵養に努め、社会福祉の理解者を増やし、社会福祉の発展に貢献できる人材の育成に努める。福祉コース実施開始年度として円滑に運営をすすめる。介護福祉士国家試験100%合格をめざす。

福祉教育の拠点校としての役割を自覚し、県内外の福祉関連高校との連携を深め、県内福祉教育のレベルアップを図る。